

# ご使用前にご覧ください。

## 膨張式ライフジャケット

### 取り扱い説明書

ここに示すご注意内容はお客様の安全を保つためでございます。  
誤った使用方法を行うと非常に危険でございますので、  
必ずお守りください。

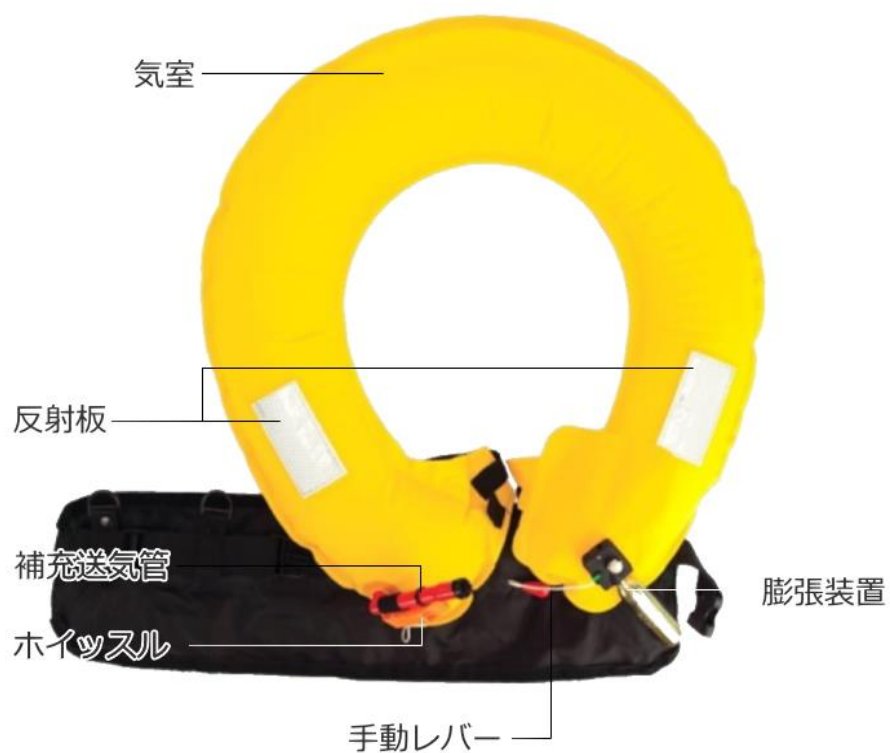
### 警告

- ・ 本製品は水面上に浮力を出す機能がありますが、生命の安全を保証するものではありません。
- ・ この膨張式救命胴衣は 12 歳以下の方は使用しないで下さい。
- ・ 膨張装置を作動させた場合は再使用しないで下さい。  
一度作動させると、炭酸ガスボンベ内のガスが無くなり再使用出来ません。  
この場合販売店で当社適用キットを購入し、交換してからご使用下さい。
- ・ 着用前に気室を傷つける恐れのある物、突起物、鋭利な物は取り外して下さい。  
気室を傷つけ、使用出来なくなる恐れがあります。
- ・ 膨張式救命胴衣は外衣として着用して下さい。  
着衣の下に着用しますと、膨張時に胸を圧迫して呼吸が出来なくなる恐れがあります。
- ・ 膨張式救命胴衣は急流、水上バイク、水上スキー、  
小型ヨット(3 人乗り以下)等、着用者が常に濡れている状態や、  
高速を伴う活動での使用はしないで下さい。
- ・ 着用前にバックル等の部品が壊れていないか、ベルトや、本体の縫製が破れていないかを確認して下さい、落水時に膨張式救命胴衣が脱げる恐れがあります。
- ・ 膨張させた後は、気室内の空気を完全に抜いて下さい。  
気室に空気が残っていると再び膨張させた時に、  
気室が破裂する恐れがあります。
- ・ 膨張式救命胴衣は所有者が責任を持ってメンテナンスするようにして下さい。
- ・ 膨張式救命胴衣は絶対に改造しないで下さい。  
膨張式救命胴衣としての機能を失う恐れがあります。

- ・ この膨張式救命胴衣を救命以外の用途に使用しないで下さい。
- ・ 着用前に気室が膨らんでしまっていないか、炭酸ガス充填装置より炭酸ガスボンベを外し、ボンベの封版（先端）に穴が開いていないかを必ず確認して下さい。
- ・ ご自身の体にぴったり合うように、ウエストとベストのベルトを調整して下さい。（5 ページ着用方法参考）
- ・ 0℃以下に使用する場合、気室の圧力が低くなるので補助充気装置から空気を吹き込んで下さい。
- ・ 膨張式救命胴衣は正しい方法で折り畳んで下さい。

## 商品の概要と装置

### ベルトタイプ



# ベストタイプ

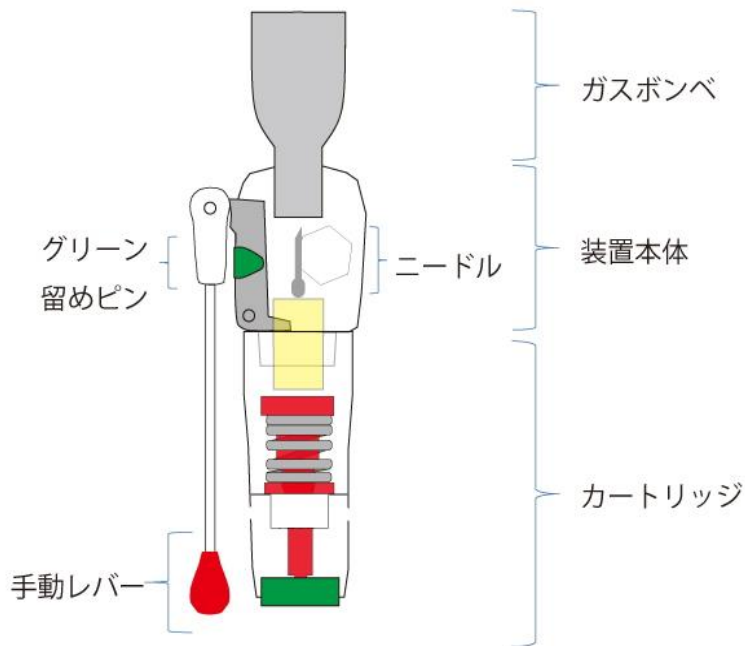


## 膨張装置

膨張装置本体、接続金具、炭酸ガスボンベ、手動用の手動レバー、スプール、安全ピンによるパーツからなっています。

膨張装置救命胴衣は水面に投げ出された時、水の作用によりインフレーター内部の銃針が動き、ポンベの封板を破り、ガスを気室内へ充填させる構造になっています。炭酸ガスボンベ（容量：24g、33g）、スプール、安全ピンは必ず専用の物を使用して下さい。炭酸ガスボンベの容量は製造時期により変動がある場合がございます。

### <内部構造>



自動膨張の装置をイメージしております。

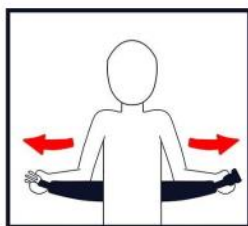
## 着用方法

気室を破損させる恐れのあるもの（ブローチ、ボールペン、安全ピン）などは、膨張式救命胴衣を着用する前に必ず衣服から取り外して下さい。

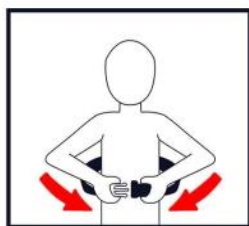
この製品は外衣として着用して下さい。着衣の下に着用しますと、膨張時に胸と腹を圧迫して呼吸が出来なくなる恐れがあります。

この製品の推奨ウエストサイズは 80～110 cm です。体型に合わせて正しく着用して下さい。正しく着用されていないと、安定した浮遊姿勢を得られない可能性があります。

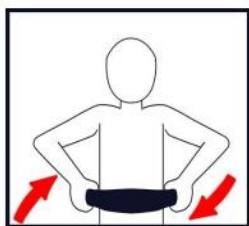
### ベルト式の着用方法



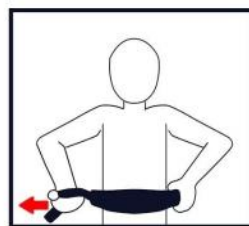
後ろから腰上に装着します



しっかりとロックします



腰上に本体を調整します



ベルトを合わします

## 作動方法

手動膨張と自動膨張 2 つの方法により膨張します。

### ・手動膨張

救命胴衣から出ている手動レバー（紐）を強く引くことにより膨張させます。

### ・自動膨張

落水した時、膨張装置のスプールが水に反応し作動することで、炭酸ガスボンベから気室に炭酸ガスが充填され自動的に膨張します。万が一作動しない場合には手動膨張させて下さい。

自動膨張で使用してもスプールが水と反応出来ない場合、例えば浮遊物につかまってセンサーが水没しない状態、ウェダや合羽がスプールとの接触を妨げている状態では作動、膨張しません。

## 整備要綱

膨張式救命胴衣はあなたの命を守るお手伝いをする為にあります。膨張式救命胴衣が何時も正確に機能する為に、正しく整備して下さい。

充気装置のナット（接続金具）は絶対に取り外した締め込んだりしないで下さい。

出荷時に正しい強さで取り付けています。

これをいじると正常に作動しなくなったり、空気が漏れたりする可能性があり、重大な事故に繋がる可能性があります。

1 気室が汚れた場合には、汚れている部分を湿らせ布等で軽く叩いて汚れを移しとって下さい。

決して洗濯機洗ったり、漂白剤やシンナーで洗浄しないで下さい。

2 陰干しして乾燥して下さい、ストーブや焚き火にあてないで下さい。また、アイロンかけやドライヤーでの乾燥もしないで下さい。

## 保管方法

次のような場所や条件での保管は絶対にしないで下さい。

製品の劣化を早めたり、救命胴衣として機能しなくなる恐れがあります。

- ・直射日光の当たるところ ・他の物の下積みになるところ
- ・ストーブやヒーターの近く ・雨などで濡れたままでの保管
- ・気温または室温が 40℃以上になる場所 ・無理に折りたたんでの保管
- ・水漏りするまたは多湿のところ ・寒暖差の激しい所 ・蒸気のあたる場所  
(膨張装置中に結露が起きるとセンサーが作動する恐れがあります。)

## 製品の買換え、修理の目安

次のような状態が発生した場合には、製品を買換えるか、修理（有料）を依頼して下さい。

- ・気室に傷が見つかった時 ・気室が変色している時
- ・充気装置が破損している時 ・ベルトが破損している時
- ・補助送気管が折れたり破損している時 ・バックルが破損している時
- ・外装が破損している時

改造は絶対にしないで下さい。特に気室を損傷させる恐れのある、ワッペンやピンオンリールの取り付けは避けて下さい。

充気装置が濡れたり、汚れたりした場合には必ず水分や付け着物を拭き取り、常に清潔な状態にしておいて下さい。